



横浜市議員（鶴見区）

柏原すぐるの Newspaper #27

議員報酬を考える | 3月号からの続報

4月に議員報酬増。今度は、期末手当も？

市民に負担を求める前に、政治の姿勢を問う。

11月30日議決予定の給与条例改正で、勧告どおりなら期末手当は年0.05月増えます。4月には月額報酬も引き上げられ、ボーナスの計算の基礎額が増えています。今回の支給割合の引き上げだけでなく、前年度からの増額全体を見る必要があります。

2026年度【人事委員会勧告通りの議案の場合】

特別職	現状				改定後		差分	昨年度との比較
	月額報酬	職務段階別加算	基礎額	年間ボーナス	年間ボーナス			
市長	1,647,000	1.2	1,976,400	9,190,260	9,289,080		98,820	366,660
副市長	1,324,000	1.2	1,588,800	7,387,920	7,467,360	4.70	79,440	297,060
議長	1,215,000	1.2	1,458,000	6,779,700	6,852,600	カ月	72,900	273,780
議員	982,000	1.2	1,178,400	5,479,560	5,538,480		58,920	220,740

議員の年間期末手当は、昨年度比22万740円増の試算。

4月の報酬増による影響

16万1,820円

+

今回の0.05月増

5万8,920円

=

年間期末手当の増額

22万740円

月額報酬95万3,000円

→ 98万2,000円／

年間支給割合4.65月→4.70月

※人事委員会勧告どおりで改定する場合。期末手当のみの前年度比較で、月額報酬の増額を含む年収総額の比較ではありません。議決前の試算です。

なぜ、政治家の待遇改善を優先するのか。

3月の引き上げにも反対しました

3月11日の本会議では、報酬を引き上げる根拠と市民への説明責任を質問し、引き上げ議案に反対しました。この改定は、**議員全体で約4,000万円の予算増**につながるものでした。4月に月額報酬が上がったばかりで、今度は期末手当も引き上げる。市民に行政サービスの見直しや負担への理解を求める中で、政治家自身の待遇改善を優先すべきではないと考えます。

職員の処遇改善とは、分けて判断を

一般職員の処遇改善と、政治家自身の待遇は、それぞれ必要性を判断すべきです。会派では、市長や議員の期末手当の引き上げを据え置く修正案などを検討しています。対象や対応方法は協議中です。問われているのは、金額だけでなく政治の優先順位です。改革を求める立場だからこそ、自らの待遇にも説明責任を果たし、議会での判断と経過をお伝えします。

新市長が初登庁。財政改革は、政治家自ら。



10月20日初登庁時撮影

10月20日、原沢あつみ市長が初登庁しました。市長は財政基盤の強化を掲げ、歳出を減らすとともに、税収を増やす考えを示しています。

率先垂範すべき政治家こそ、自らを律する。

財政改革を進めるなら、政治家自身が率先して範を示す必要があります。市民に改革への理解を求めながら、自らの報酬や期末手当を引き上げることはあってはならないと、私は考えます。新市政にも是々非々で向き合い、政策の中身と実行を確かめます。令和9年度予算要望も改めて提出し、改革で生み出した財源を暮らしと将来世代への投資につなげるよう働きかけます。予算要望の具体策は裏面へ→

柏原すぐる プロフィール

横浜市議員・鶴見区選出／2023年初当選

1985年広島生まれ。千葉大学工学部卒。民間企業で現場監督などを経験し、2013年から鶴見区寺谷在住。妻と子ども3人の5人家族。現在、会派政調会副会長、まちづくり委員会委員、未来のまちづくり推進特別委員会委員などを努めています。「将来世代にツケを回さない。暮らしの声を、まちの変化へ。」議員の率先行動として、毎月約13万円を被災地や公益団体等へ寄付し、寄付先をホームページで公開しています。

最新情報はこちら

柏原すぐる 公式HP



https://suguru-kashiwabara.jp/

柏原すぐる YouTube



https://www.youtube.com/channel/UCFPEL3023-m8d8b-13w

柏原すぐる X



https://x.com/SuguruHem



令和9年度予算要望 | 全323項目を提出

改革で財源を生み、暮らしと次世代へ。

要望を届けて終わりにせず、
予算と実行につなげる。

9月25日、地域・団体要望を含む全323項目を会派で提出。
新市長にも改めて要望を伝え、事業の見直しと将来への投資を
具体化するよう働きかけます。
限られた財源を、効果の高い施策へ。使った金額だけでなく、
市民の暮らしがどう変わったかを確認めます。



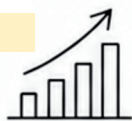
9月25日、市長職務代理者へ要望書を提出

予算要望の5つの柱

01 成長戦略とイノベーション

民間の投資と挑戦を後押し

規制改革や新産業の集積、地域交通の充実を
進め、仕事と税収を生む都市へ。区への権限・
財源の移譲も求めています。



02 徹底した市政改革

事業の成果と費用を見直す

AI・デジタル技術を活用し、行政の仕事を効率化。
事業や施設、外郭団体を点検し、必要な政策に
振り向ける財源を確保します。



03 次世代への投資

教育の質と、学びの選択肢を

不登校の子どもを含め、多様な学びを支える
環境を整備。保育・学童・放課後キッズクラブの
人材の待遇改善も求めます。



04 強靱で持続可能な都市基盤

災害への備えと、身近なまちの更新

豪雨・浸水への備え、公共施設の長寿命化。
公園や緑、歩行空間など、毎日の暮らしを支える
基盤を整えます。



05 医療・福祉改革と健康長寿社会の実現

予防と効率化で、支え続けられる仕組みへ

健康づくり・介護予防と、医療・介護のデジタル化や人材確保を後押し。
サービスの質と制度の持続性を両立させます。



詳細の要望書
はこちら→

公式ブログで
全文を公開

suguru-kashiwabara.jp/4222/



鶴見の声を、来年度予算へ。

全27項目から、身近な6つを紹介

地域交通

のるーとTSURUMIの継続支援と、
岸谷エリアの移動手段の確保。

矢向駅の踏切

川崎市・鉄道事業者と連携し、
安全性と利便性の改善へ。

駅周辺のまちづくり

鶴見・生麦・矢向駅周辺で
規制緩和と民間投資を促進。

身近な図書サービス

トレッサ横浜等の取次拠点と、
鶴見駅東口での受取・返却機能を要望。

投票しやすい環境

トレッサ横浜等への期日前投票所の
設置を求めています。

鶴見の将来像

区民参加で「鶴見のビジョン」をつくり、
区独自予算を拡充。

※いずれも要望事項です。実施が決まったものではありません。

議会の信頼回復へ

議員のハラスメント防止条例案

10月29日 本会議で上程・採決予定

議員から他の議員・職員へのハラスメントを対象に、外部相談
窓口を設置。必要に応じて3人の対策委員会が調査・認定し、
議長が対応措置を講じる仕組みです。
相談や調査協力を理由とする不利益な取扱いを禁止。プライバシー
と秘密を守り、一定の条件下では氏名等の公表も定めています。

条例を作って終わりにせず、安心して相談でき、
被害防止につながる運用を重視します。

※議決前の条例案。施行日は議長が定めます。

お出かけ情報

GREEN×EXPO 2027

チケット販売・来場日時予約 受付中

来場日時予約は9月18日から始まっています。

購入済みの方も、日時予約が済んでいるかご確認ください。

- ・日時予約付きのコンビニ券は、追加の来場日時予約は不要。
- ・シャトルバス・駐車場は別途予約。

購入・予約方法は公式サイトへ

expo2027yokohama.or.jp/tickets-index/



今後の議会の予定

10月末から第4回定例会が行われます。決算審査、
補正予算の審査、議会ハラスメント条例の制定など
を予定しています。



お問合せ

ご意見やご質問は随時受け付け中！
公式LINE登録後、「問い合わせ」
よりお気軽にご連絡ください。

